

<第1回佐々貴義式言文賞受賞論文>

掲載号：第44号

論文名：「後項動詞の種類からみた日本語学習者の統語的複合動詞の意味推測の特徴
—文脈量と日本語習熟度の影響を中心に—」

著者：谷内美智子（やち・みちこ）

選考理由：本論文は、語彙的複合動詞に比べ意味推測が比較的容易であるとされてきた統語的複合動詞について、当該語を取り巻く文脈量、学習者の日本語習熟度、また、複合動詞を構成する動詞の元の意味の保持具合によって、推測の困難度が異なることを実証した研究である。先行研究が残した課題から、適切な研究課題を導き出し、研究方法、分析、結果、考察の流れが明確に述べられており、実験系の研究論文の模範となるものである。第二言語習得研究においては、文法習得に比べ研究が遅れている語彙習得の研究であり、今後の発展が期待される実証研究であることに加えて、日本語教育の現場での語彙指導にも有益な示唆を与える得る論文であることも高く評価できる。